

### 第二回定期総会を開催！ 事業計画の決定、倫理綱領を採択

全国福祉用具専門相談員協会（会長 山下一平）が、六月二十五日（水）、東京・弘済会館において第二回定期総会を開催し、本年度の事業計画等を決定した。事業計画には、事例検討方式の研修会の開催や、専門相談員のキャリアアップの公開システム構築、専門相談員を対象とした実態調査などが盛り込まれている。また、未確立の分野となっていた専門相談員の倫理についても、会員が遵守すべき「倫理綱領」を採択した。

#### キャリアアップ及び研修システムの早期実施を計画

全国福祉用具専門相談員協会は昨年七月に設立され、これまで組織整備と広報を中心に活動してきたが、本年度の計画は、研修や調査、広報など、会員向けや対外的な事業を本格的に実施することとなった。今後、個々の専門相談員の能力がいつそう問われることから、会員のキャリアアップ情報の公開システムを開発し、ウェブサイトで利用者等に情報を提供。併せて専門相談員の能力アップに向けたインセンティブが働く仕組みづくりに全力で取り組んでいく。

が見込まれるカリキュラムを開発。会員の多様な研修ニーズに対応していく。

一方、これまで専門相談員を対象とした調査実績が少ない調査にも力を入れ、現在、会員を対象にアンケート調査を実施中だ。データの分析を通して、同会の事業立案のための基礎資料を整備し、政策提言などにも活用していくという。

#### 専門職倫理の確立に向け、「倫理綱領」を採択

医療、福祉職に要求される資質として、専門的知識、高度な技術等いくつか挙げられるが、先ず「倫理」に対する強い認識こそ最優先されるべきと、組織発足当初から考える同会では、本年度「倫理委員会」を設置した。

委員会では倫理綱領の素案を作成し、理事会で正式に議決。パブリックコメントを実施した後、今総会で正式に採択された。タイトルは、「福祉用具専門相談員の倫理綱領」という位置づけにし、会員に限らず、広く専門職倫理の確立を企

図していく。綱領は前文と十項の倫理項目で構成されており、特に経済倫理と福祉倫理の一体化を目指したものとなっている。

なお、倫理委員会の構成メンバーは次の通り。

委員長：村尾俊明氏（同会理事、財団法人テクノエイド協会常務理事）

委員：渥美雅子氏（弁護士、「女性と仕事の未来館」館長）／清水鳩子氏（同会理事、主婦連合会 参与）／樋口恵子氏（同会理事、NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長）／山下一平氏（同会会長、ヤマシタコーポレーション社長）

委員：五十音順

#### 愛称とシンボルマークを公募 併せて福祉用具の普及啓発も

さらに、広報活動の一環として、今後、同会が使用する「愛称（略称）」「シンボルマーク」を一般から公募中だ。

「愛称」「シンボルマーク」には、会員、関係者、そして一般の方が同会に親近感

#### 「愛称・シンボルマーク」の応募方法

愛称（略称）：親しみやすく、呼びやすく、福祉用具専門相談員をイメージできる、わかりやすいもの。

シンボルマーク：親しみやすく福祉用具専門相談員を象徴するもの。

締切：2008年7月31日（木）当日消印有効

賞：愛称、シンボルマークとも最優秀賞各1点（副賞各5万円）、佳作2～3点（各1万円）

※詳細はホームページ（<http://www.zfssk.com>）を参照。

【問い合わせ先】全国福祉用具専門相談員協会

〒108-0074 東京都港区高輪3-19-20 高輪OSビル9F

TEL : 03-3443-0011 FAX : 03-3443-8800

メールアドレス info@zfssk.com

を感じてもらえるようにという思いがあるが、公募活動そのものもパブリシティ効果が非常に高い。「作品募集を通して、多くの方に福祉用具や福祉用具専門相談員について知ってもらいたい」という期待もある。応募要領は右記の通り。

愛称・シンボルマークは秋の国際福祉機器展や、福祉用具の日（十月一日）に合わせて発表する予定だ。